

科目名	インターンシップA							年度	2026
英語科目名	Internship A							学期	通年
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実技
担当教員	長谷川浩司	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優		
【科目の目的】 現場を知ることで自らの能力の見極めや実践力の向上を計り、在学中の勉強意欲に繋げること。									
【科目の概要】 映画、テレビ、舞台、イベント等の学外での出演を通して実践的な知識や技術、仕事に対する姿勢を学ぶ。									
【到達目標】 映画・テレビ・舞台・イベント等、学外での出演を責任を持って全うし、キャリアアップにつなげる。									
【授業の注意点】 出演オーディションを受ける前に必ず、担任に申告する。インターンシップA・B・Cの選択は出演内容およびスケジュールを確認し、学科で判断する。健康に注意し、与えられたスケジュール期間を無遅刻・無欠席で全うする。出演決定後のキャンセルは認めない。詳細については、出演先の契約内容に基づく。スケジュールによって学内の公演・発表等の出演はできない場合がある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう					レベル1 要努力	
到達目標 A	現場を知ることで自らの能力を知り、在学中の勉強意欲に繋げることができた。		現場を知ることで自らの能力を知ることができたが、在学中に何をしたら良いか具体的に分からない。					仕事現場を知ることが精一杯で、自身の能力を悟ることができなかった。	
到達目標 B	働くことへの理解が深まり、就職活動(デビュー含)に活かすことができた。		働くことへの理解が少し深まり、就職活動(デビュー含)に活かすことができた。					働くことへの理解が乏しく、就職活動(デビュー含)に活かすことができなかった。	
到達目標 C	現場体験報告書を毎回、期限内に提出できた。		現場体験報告書を毎回、提出したが期限を過ぎることがあった。					現場体験報告書を毎回、提出できなかった。	
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		インターンシップA			年度	2026
英語表記		Internship A			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	インターンシップ	職業を体験して企業を知る	1 レポート	実施内容をまとめて提出する	3	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等